

宇之澤和貴

僕は3, 4年生の頃、脳神経の分野が苦手でした。錐体路とか後索内側毛帯路とか経路がいっぱいあって複雑だし、症状も多彩で分かりにくいなああと。脳神経分野をアドバンスで希望するとはその当時では考えられませんでした。5年生になって徐々に知識が増えていくにつれ、苦手意識はいつの間にか無くなっており、むしろ神経学的所見や既往・環境などから病態を推論することに興味が沸いていました。アドバンス BSL の希望の提出期限が5年生で最後にまわっていた神経内科での実習の2日目で、神経内科のことをまだよく分かっておらず、希望順位をなかなか付けられずにいました。その悩みを神経内科の先生に相談したところ、「神経内科の実習楽しいし勉強になるから！後悔しないよ！」と言われたのもあり、最終的に神経内科のアドバンスを希望しました。

神経内科が扱う病気はほとんどが治らない・良くならないという印象がありましたが、2週間という短い間でも、筋力が回復した様子や、痛みがひいて表情が別人のように良くなった患者さんなどを見ることができました。また、Babinski 反射や Chaddock 反射を自分で出したり、固縮を感じたりといった教科書だけでは学べないことを沢山経験できたので、神経内科をまわって良かったです。

今回6年生のグループは僕1人で、もはやグループではなかったけれど、だからこそ見学・実習の環境は良いものでした。私事ですが、この2週間で五重跳び（縄跳び）の連続跳躍記録を18回に伸ばすことができ、ギネス世界記録まであと3回となりました。実習も運動も充実した2週間でした。

神経内科の先生方、お忙しい中ご指導していただき本当にありがとうございました。2週間大変お世話になりました。

